

よいよい授業をめざして..

学校として授業研究を活性化するために...

どんな授業がいい授業なんやろ? みんなはどう考えてるのかなあ..
やっぱり教科が違くと授業研究会で意見聞きにくいなあ..

先輩の授業をもっと見たいなあ..
「子どもが楽しそうにしていたね」で授業研究会が終わってしまっただけえんやろうか...

~特別号Ⅰ・Ⅱより~

今回の特別号Ⅲでは、
ここについて詳しく
提案します。

校内で授業研究を進めるときに、公開授業をした後の研究会で、教科を超えて授業のことを協議するのってむずかしいですね。せっかく公開授業をしたのに、「お疲れさん。子どもたち楽しそうやったね」で終わってしまったのは、残念です。
また、各学年で公開授業をして、一つ一つの公開授業はすばらしいのだけれど、なかなかそれぞれがつながり深まっていかないことに悩んでいたり..
例えば、こんな工夫ができるかも..という事例を紹介します。次年度の研修計画を立てるにあたり参考にいただければと思います。

授業研究会で意見が活発に交流されるために...

【公開授業の前に】

- 1 授業を観る観点を明確にする
学校として、「授業評価ポイント」を作成することも良い方法ではないでしょうか(裏面に授業評価シートの例を載せました) 前回の教育センターだより特別号Ⅱで紹介した「授業を観る視点」から、いくつかの項目を抜粋することもできます。
- 2 学校の努力目標等のテーマに即した提案授業であれば、その提案にそって研究協議の柱を3本程度にしぼる。

【授業後の研究会では..】

- 3 研究会の進め方については、いろいろな人が意見を言いやすいような形態のを工夫をしてみたいかでしょうか?

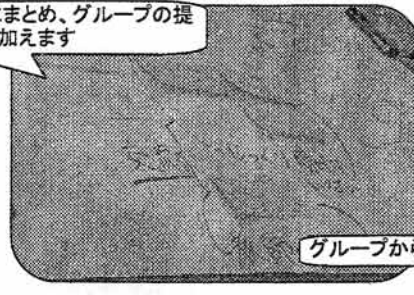
A 観点別に色別付箋紙を活用してグループ交流をした後、全体で深める

- 1 司会者から、研究協議の流れを説明する(見通し)
- 2 授業者・学年から授業に向けての取組・提案の意図等の話を聞く
- 3 授業者(学年)からの提案を受けた、研究協議の3つの観点を司会者から示す(たとえば、①授業の流れ・教材の工夫 ②子どもの活動 ③個に応じた子どもへの支援)
- 4 一人ずつ色別付箋紙に 意見を書く(一人ひとりの率直な意見)
- 5 一人ずつ書いた付箋紙を元にグループで共有化し、疑問が出てきたところは、授業者への質問やグループからの「提案(こんな方法もあるのでは?)」としてまとめる。
- 6 グループから全体に報告をする。(共有化)
- 7 グループからの報告を受けて、授業者(学年)の意見を聞いたり、他のグループから意見を聞き全体で交流する
- 8 公開授業・グループ交流・全体交流を受けて、助言者からの話を聞く。

このような方法だと、
経験の少ない私でも意見
が言いやすいなあ..



観点別にまとめ、グループの提案を書き加えます



グループから報告



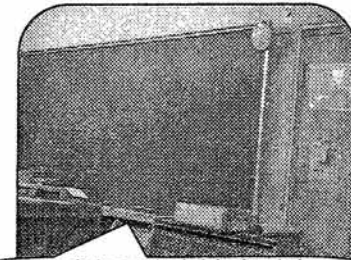
山手小学校の研究会の様子

各自の付箋紙をもとにグループで交流

付箋紙を使った研究会では、経験年数の少ない教職員にとっても意見が言いやすくなるという利点もあるようです。また、このような研究会の形の回数を重ねることで、教職員の間には授業を観る視点が育ち、研究協議の内容がどんどん深まっていくようです。(慣れてくるとグループ協議は、20分程度で可能です)

教育センターの初任者研修・ステップアップ研修でもこの方法を取り入れています。特に中学校の授業研究で教科の壁を越えて協議する場合に非常に活発に意見を出すことができ、有効であると思います。

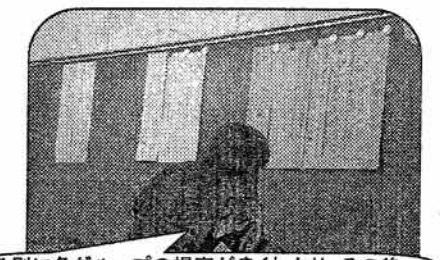
- B 研究会の進め方はAと同じですが、グループ協議の仕方について、付箋紙ではなく3色の色別短冊を活用して①よかったところ ②自分ならこうする(提案) ③質問・疑問の3つについて、色画用紙の短冊に書いて報告します。



短冊に書く3つの観点を板書します。



グループで話し合ったことを全体で共有化するために報告します。



色別に各グループの提案が良くわかり、その後の全体協議に生かすことができます。

グループで話し合ったことを、書いてまとめてあるので、他のグループの方にとってもわかりやすく、全体でもう一度深めることができます。

吹三小学校の研究会の様子

この観点だったら、
教科が違っても意見
が言いやすいなあ..

少人数のグループでの時間
をとることが効果的!

- C 研究会の進め方は、ほぼAと同じですが、授業を見る前に重点を絞って、見る観点(具体例は下記)を、教師のグループごとに分担しておき、授業後観点別グループで協議し深めた内容を全体に報告し共有化します。

(体育の例) ①教師の助言の仕方 ②運動量 ③場の設定・安全面への配慮 ④子ども同士の学び合い
(国語の例) ①教師の発問と指示 ②「読み取り」の手だて ③言語活動量 ④一人ひとりの子どもの学び

- D 観点別に色別付箋紙を活用してグループ交流をした後、全体で深める

時間の授業の中で、子どもたちのグループ活動(グループの話し合い)場面が設定される授業があります。このような授業場面では、子どもたちが分かれて活動をするので、それぞれの思考の流れや、話し合いがどのように進んだのかがわかりにくいと感じられることはないでしょうか?

このような研究会では、グループごとに記録者(あくまで観察者・記録者であり、支援者にならないようにすることが大切かと思いますが)を決めて、子どもたちのやり取りを記録し、研究会でグループの様子を報告してみようか?

研究会のテーマが、「伝え合う力」「コミュニケーション力」ということであれば、子どもたち一人ひとりが自分の思いを話していたのか、友だちの考えが自分の考えに影響を与えたのかなど、一人ひとりの子どもの学びが成立していたのか..ということを研究協議で深めていくことができると思います。

授業を見る観点を明確に
することが深まるポイント!

- E 2つのビデオカメラ(子ども・教師)で録画し、同時に再生しながら研究協議(ビデオリフレクション)

(中学校などで、)なかなか一つの校内公開授業を、学校の教職員全員が参観することが難しい授業では、このような形は効果的です。スクリーンに、教師側と子ども側の映像を同時に並べて再生します。検討する観点を確認した後、再生しながら、気づいたところで参加者や授業者が発言していきます。その間再生を止めたり、話題になった部分をもう一度再生しながら意見交流を行っていきます。

まずは、お互いの授業を見合う機会をつくることから始めて、
取り組んでみませんか?

授業評価シート例

ここに示した授業評価シートの例は、校務なびのライブラリの中にも入っていますので、閲覧することができます。
(平成16～17年度 大阪府授業評価システム推進校の資料です。)

2 中学校からの取組み事例
(7) 大阪狭山市立第三中学校

(資料2)

授業名 () 月 日 実施 **授業者用**

授業の様子に関する項目
一番近いと思われるものを選んでください。
④はい ③どちらかといえば、はい ②どちらかといえば、いいえ ①いいえ

内容		④	③	②	①
学習集団づくり	①話す・聞く・書くなど、互いに認め合いながら学習できる学習集団づくりができていた。				
目標の設定	②これまでの子どもたちの学習状況を把握できていた。 ③単元計画の中で今日の授業のねらいが明確であった。				
教材・教具・発問・板書などの指導技術	④授業の導入で子どもたちが興味・関心をもてるように教材の工夫をした。 ⑤適切な発問や指示によって、授業を展開していた。 ⑥学習の流れや関連、ポイントがよくわかるように板書を工夫していた。				
活動の場の構成	⑦先生が一方向的にしゃべるのではなく、子どもたちが考える時間を確保できた。 ⑧子どもたちの考えを交流する時間があった。				
個の学習の成立	⑨本時の学習が成立しづらい子どもに、声かけをおこなった。 ⑩次の時間にむけて、子どもたちに新たな課題を与えることができた。				

ふりかえってみて:

1 小学校からの取組み事例
(5) 枚方市立菅原東小学校

参観者用

参観者用 授業についてのアンケート 枚方市立菅原東小学校

本日は参観ありがとうございます。
菅原東小学校では、大阪府教育委員会の指定を受け、「授業評価」についての研究を進めています。試行段階につき不十分ではありますが、以下の項目にご協力ください。
【1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない】
もし、どうしてもはっきりしない場合は、○を付けなくてもかまいません。

(1) 教材・教具はどうでしたか。

タイミングよく使われていた。	1	2	3	4
児童にとって扱いやすかった。	1	2	3	4
工夫されていた。	1	2	3	4

(2) 発問はどうでしたか。

多様な考え方を引き出すものであった。	1	2	3	4
児童にとって理解しやすかった。	1	2	3	4
声の大きさや速さが適切であった。	1	2	3	4

(3) 板書はどうでしたか。

文字の大きさが適切であった。	1	2	3	4
ていねいに書かれていた。	1	2	3	4
色チョークなどを使ってわかりやすく整理されていた。	1	2	3	4

(4) 個に応じた配慮について

理解を助けるための手だてや声かけがされていた。	1	2	3	4
-------------------------	---	---	---	---

(5) 全教を通じて

児童の興味・関心を引き出すものであった。	1	2	3	4
わかりやすい授業であった。	1	2	3	4
児童が積極的に参加できていた。	1	2	3	4

(6) その他、お気づきの点・感想がありましたらお書きください。

2 中学校からの取組み事例
(6) 東大阪市長小中学校

子ども用

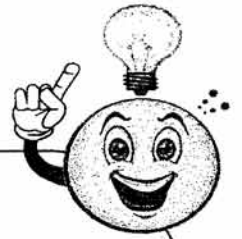
(資料)

授業評価規準系 (生徒用)

質問	1 そう 思う	2 だいた いそう 思う	3 どちら かとい うとそ うは思 わない	4 そう は思 わな い
①先生の説明や黒板の内容がわかりやすかった。				
②自分で考えたり発問したりすることができた。				
③友達の見聞を聞くことができた。				
④今日の授業はよくわかった。				
⑤授業の内容をノートやプリントに書いた。				
⑥自分は意欲的に授業に取り組むことができた。				
感想 (よかったこと、きづいたこと)				

参観者用

質問	1 そう 思う	2 だいた いそう 思う	3 どちら かとい うとそ うは思 わない	4 そう は思 わな い
①本時のねらいがわかりやすかった。				
②導入で生徒が興味・関心を持っていた。				
③適切な発問や指示によって授業を展開していた。				
④流れ、ポイントがわかるように板書を工夫していた。				
⑤生徒どうしの交流する時間を確保していた。				
⑥個に応じた適切な支援を行っていた。				
⑦学習活動が意欲的でない生徒にフォローしていた。				
感想				



吹田市の実践例

古江台中学校では、授業評価シートを活用した授業研究に取り組みられています。記入したシートを授業者がもらうことで、授業者にとっては励みになるようです。また、研究会で教科がちがっても、話をしやすくする一つのアイテムとしても効果があるようです。

授業評価シート

教科 () 記入者 ()

*一番近いと思われるものを選んで番号に○をつけてください。
1. はい 2. どちらかといえば、はい 3. どちらかといえば、いいえ 4. いいえ

評価内容	評価	メモ
1 本時のねらいがわかりやすかったか。	1 2 3 4	
2 生徒が興味関心をひく教材の工夫ができていたか。	1 2 3 4	
3 わかりやすい言葉で説明や質問をしているか。	1 2 3 4	
4 生徒の活動状況を的確に考え、適切な支援(助言、励ましなど)を行っているか。	1 2 3 4	
5 国語力を育成する工夫がなされているか。(読む、聴く、話す、書くからつながる思考力、判断力、表現力の育成)	1 2 3 4	
(本日の感想)		

ここに紹介させていただいたものは、あくまで一つの例示です。各学校で、工夫して取り組んでおられる例があれば、是非共有化したいと思っておりますので、教育センターまで情報提供してください。

よろしくおねがいいたします。